

んだすな

親子でアウトドア満喫♪

8月11日(日)、鹿角市の自然豊かなロケーションにある旧中滝小学校校舎を拠点とし、体験施設として開かれている中滝ふるさと学舎でアウトドア料理体験講座『夏だ!集まれ!ファミリーアドベンチャー』が、秋田県北部男女共同参画センター・大館市ファミリーサポート・中滝ふるさと学舎の協働事業で行われました。大人も子供も野外の心地よい空気と自然環境にふれながら、親子でのコミュニケーションを楽しみ、できあがったおいしい料理に舌鼓を打ちました。

今月のピックアップ!

- ・活動紹介
「NPO法人 あきた花咲く教師カネット」
- ・私のいっぽ
大森好一さん
(NPO法人関善賑わい屋敷)
- ・CB/CSRいろは塾
「インキュベーション・マネージャーという仕事」
- ・こちらNPO元気研究所
「おしえて!チラシ作りのポイント」
- ・情報あらかると
- ・KAMIKOANI プロジェクト秋田 2013 開幕



活動紹介

NPO法人 あきた花咲く教師カネット



あきた花咲く教師カネットは、平成21年6月に結成された県内の学校の教員で構成されたNPOです。

秋田県内の教育関係者、保護者や児童生徒等を対象に、子どもの健全育成を図ろうと、授業技量及び教育技術向上のための研修会、各種体験教室、教育や子育てに係る情報提供サービス等の支援事業を行い、学校、家庭及び地域の教育力の向上に寄与することを目的として活動しています。

活動のきっかけは？

もともとは県北の小学校教諭2名からなる小さな教育サークルでした。結成された平成9年の当初の目的は、「日々の自分の授業を少しでも良くしたい。」というもの。そのため、お互いの授業実践や学級通信を紹介し、検討し合いながら、よりよい学級経営や授業作りをしていこうと活動を開始したのでした。

同僚・知人に声をかけ、教育雑誌に告知文を載せていくうちにサークル員も少しずつ増えていきました。また、従来の活動に加え、サークル員を子どもに見立て、実際の授業のように行う「模擬授業」という形態を取り入れながら、お互いの授業の様子を細かく検討し合うようにもなりました。

更には、隣県のサークルの先生方と授業の腕を競う競技会を開いたり、全国的に授業が上手いと言われている先生を講師として招き、セミナーを開いたりするイベントも手がけるようになりました。

NPO 法人化した理由は？

イベントを開催するためには、一定数の「お客様」に集まっていただかなくてはなりません。そのため、広報活動が必要になってきます。私たちにとって最も身近な方法が、地元の自治体や県の教育委員会からの後援をいただき、小中学校や幼稚園・保育園などの教育関係者にチラシを配布することでした。しかし、後援をいただくためには、ある程度の実績や社会的信用が伴わないと難しいことが次第に分かってきました。

そこで、NPO の法人格を取得することで、より多くの皆さんに信頼していただき、活動の範囲も広く、内容も多岐に渡らせることができるのではないかと考えるようになりました。



どんな活動をしていますか？

近年、軌道に乗ってきた三つの活動を紹介します。

1

一つ目は、カルタ大会です。百人一首というカルタはご存じだと思いますが、私たちが行っているものは「五色」百人一首というもので、20枚の取り札で競技ができる簡単なカルタです。全国の多くの教室で用いられているこの五色百人一首の大会を、年1回、秋に秋田市を会場とし、県内にいる小中学生の希望者を募って開催しています。競技では、子どもたちが真剣な表情で対戦し、会場内にはピンとした空気が張りつめます。この大会は、今年で7回目を迎えますが、リピーターが多く、その子と再会できるのも私たちの楽しみの一つです。



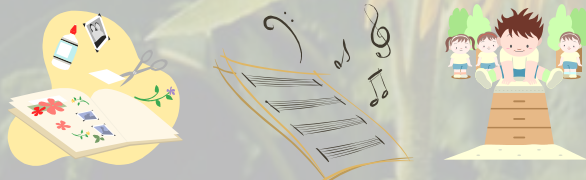
3

三つ目は、教員向けのセミナーです。「発達障がい」という言葉を聞いたことがありますか。いつも落ち着かずソワソワしている。逆に、いつもボーっとして話を聞いていないように見える。そんな子どもが通常学級の中にも約6%以上いると言われています。そんな子どもたちを相手に教師はどのように授業をしたらいいのか。そんな疑問にすばりお答えするセミナーを毎年大館市で開いています（今年は9月）。また、発達障がいのお子さんを持つ保護者の方が語る子育て体験記のコーナーも設けています。教員、保護者を問わず、是非、聞いていただきたいお話の一つです。



2

二つ目は、子ども向け体験教室です。大館市を会場にし、年に3~4回、体育や音楽、工作などの活動を取り入れた教室を開催しています。主な対象者は、小中学校の特別支援学級に在籍しているお子さんです。普通の学校生活ではなかなか体験しにくい、元気よく体を動かす活動や、リズムに合わせて歌ったり踊ったり楽器を鳴らしたりする活動、また、多くの友だちと触れ合う活動などを通じて、体力の向上や社会性の涵養（かんよう）を目的としています。一方、子どもたちが活動している間、別室では保護者の方を対象に情報交換会を設け、悩み事の相談や、ネットワーク作りの場になっています。



今後については？

元々は「明日の自分の授業をどうしよう？」という素朴な悩みから出発した私たちですが、今は「世のため、人のためにできることはもっとないのかな？」という視点で、活動を展開しています。

子どもを教育するという仕事をする一方で、私たち自身も、常に発展途上であり向上したいという気持ちです。これからは、行政の方や、議員さん、保護者の方とも連携して、今まで以上に活動の幅を広げ、質を高めて、より多くの人と幸せを分かち合える活動を続けていきたいと考えています。

NPO 法人 あきた花咲く教師力ネット

〒010-0951 秋田県秋田市山王六丁目5番27号

連絡先 村上 弥（むらかみわたる）あて

TEL018-864-8100

E-mail. m.wataru@aurora.ocn.ne.jp

HP. <http://www8.plala.or.jp/hiro453/index2.html>

私のいっぽ

新たな地域ブランドの創出へ

大森好一さん NPO法人 関善賑わい屋敷 副理事長



鹿角市は、ユネスコ無形文化遺産の大日堂舞楽や日本一の祭り囃子と称賛される花輪ばやし、特別史跡『大湯環状列石』など風土と歴史と伝統が生きている魅力あふれる街です。NPO法人関前賑わい屋敷は百年の歴史をもつ国の文化財旧関善（造り酒屋）を保存活用し、地域に賑わいを取り戻す目的で設立されました（んだすな 2006年9月掲載）。副理事長の大森好一さんは、新たな地域の特産品を生み出し十和田八幡平観光のイメージ戦略に活用しようと奈良時代から伝承されてきた「紫紺染（しこんぞめ）・茜染（あかねぞめ）」の復活・伝承に取り組んでいます。

一活動を始めたきっかけは？

私の本業は、建物の設計です。旧関善酒店や近隣建物設計の責任者として関わり、NPO法人の活動に参加するようになりました。最近は十和田八幡平草木染めの里づくり事業に取り組んでいます。

鹿角の栗山家に伝承されてきた伝統工芸「紫紺染・茜染」は後継者が途絶え、さらに紫紺染の材料である日本紫草は絶滅危惧種です。「紫紺染・茜染」は地元小学校校歌にも歌われているなど、地域住民からも愛され全国的にも有名なものでした。

平成23年に「紫紺染・茜染」の復活の中核だった当法人の前担当者が突然亡くなり、彼が取り組んでいた紫紺染・茜染復活検討委員会の調査報告書は完成半ばでした。彼の意思を継ぎ調査報告書を完成させましたが、調査だけで終わらせる訳にはいかないと、文化庁事業に申請後、「紫紺染・茜染復活事業」としてスタートし、十和田八幡平草木染めの里づくり事業に発展させました。

一活動を継続させるための工夫は？

補助金が無くなった後も続けるにはどうしたら良いかを考えながら組織作りに取り組みました。草木染めを教えている人や趣味で行っている人達を集めて、お互いの技術を向上させる仕組みとして技術交換の場をつくりました。参加者が講師となるため講師料が発生

しません。道具や材料代があれば続けられ、ひとりひとりが新しい情報を持ってくるようになり、個人で学習するよりもかなり早く技術が向上します。その後も、イベント参加者等にも声をかけ口説き落とし、現在、23名の会員が集まっています。さらには、この仲間で日本紫草の栽培にも取り組んでいます。

一人生との関わりは？

私は建築士ですが、建築学には建築の歴史や都市計画学もあります。国の文化財旧関善賑わい屋敷の保存活用・まちおこし・まちづくりも本業と無縁ではありません。鹿角のように人口が少なく一級建築士の関わる仕事が少ない所では、例え無報酬とは言え、唯一自分の存在価値や生きがいを感じられる活動になっています。



一これから何かを始めたいと思っている方々へ

建物や工芸品技術等文化財の保存継承をする場合、もし、これから先も行政等から引き受けてもらえないとしたら、民間で後生に引き継ぐ仕組みを造らなければ存続することはできません。いつも同じメンバーで活動していると意見が合わなくなったり壁にぶつかったりして抜けていくメンバーも出てきます。そのため私達は、ひとりひとりの特技や才能を引き出す他に、新しい仲間を増やし続ける事を心がけています。新しい情報や知恵は困難を乗り越えるカギになるからです。

～紫紺染・茜染を体験することができます～

むらさき・あかね工房

旧関善酒店（きゅうせきせんしゅてん）内
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字上花輪 85
TEL・FAX：0186-23-7799

体験日 毎月3・8・13・18・23・28日（要確認）

◇時間◇

10：00～15：00

◇最少体験人数◇

3名～（体験日の3日前までに3人以上になった場合に実施します。）

◇メニュー例◇

ハンカチ（鹿角の草木）1枚 1,600円から

※上記以外の体験人数やメニューについては、ご相談に応じます。詳しくは、お問い合わせ下さい。





NPO派遣相談員として、東北地域を走りまわっているインキュベーションマネージャーの浅利博樹です。さまざまな地域ビジネス（CB）や、企業の社会貢献活動（CSR）の事例を紹介していきます。

インキュベーション・マネージャーという仕事

(※1)

OB・OGのついでに塾

◇インキュベーション・マネージャー（IM）って、どんなことをしているの？

インキュベーション・マネージャー（以下IM）は、新たに起業を目指す方や、起業して間もない方を対象に、起業の段取りや経営ノウハウなど、事業活動に関する幅広い相談に対して、アドバイスや解決の糸口を提案する、いわば起業者の伴走者です。

企業の経営支援ではなく、起業家や起業家を育成し、その活動を応援し、新事業創成により地域の富と笑顔を生み出すことを使命としています。

現在、国内で支援活動を行っているIMは約800人。大きな特徴は、インターネット上のネットワークによる支援体制を活かすことで、地域を越えたノウハウの共有と支援を可能とし、全国各地の産業創造活動に取り組んでいること。起業家の課題に対してオールマイティーに対応できる、ワンストップ窓口であることが強みです。

◇具体的にどんな仕事をしているの？

- 一緒にビジネスプランを検討し、起業の実現度を高める。
- 課題に対しては、問題点を指摘するだけではなく、具体的に解決できる方法を一緒に考え、実行する。例えば販路開拓→IM同士のネットワークを活用し全国の情報を収集することが可能です。実際の販路マッチングも現地IMと連携して実施可能。
- 創業セミナーの開催、学生向けの起業意識育成など、将来の起業家を育成します。

◇IMになる為には

全国で約800人、秋田県では22人のIMが活動していますが、起業家ニーズに全て対応するにはまだまだ人数と施設が不足しているのが現状です。

機会があれば、認定取得に是非チャレンジして頂きたいと思います。

▶ IMの認定資格は、（社）日本ビジネスインキュベーション協会（JBIA）で行っている約半年間の研修を修了し、考査に合格することで得ることが出来ます。

ビジネスに関する総合的・基本的な知識と経験は必要ですが、それよりも大事なことは、支援に必要なネットワーク（人脈）を進んで作れるような人間性が必要と思います。

起業家の課題に対しIM自身だけではクリアできない問題を、周囲のエキスパートや専門家と一緒に解決する場面も多くあります。人が好きであること。自分の為では無く、起業家の笑顔を生みだすことを喜びと感ずること。それがIMの基本条件だと感じています。

秋田県内の起業家育成施設（起業支援室等）は、徐々に増えつつあります。「自ら立つ」想いのある起業家を官民挙げて応援する体制が更に根付くことを期待すると共に、日々、起業家を応援し秋田を駆け回ります。

◇NPOを応援する秋田のIM

秋田県では、NPO等団体の自立と継続力醸成の為に、IM支援を取り入れています。

公に頼らない財政基盤の確立、安定的な運営の為に「経営するNPO」が増えることで、地域の公共を担う力を持ったNPO活動が可能となります。

県内3カ所の間接支援NPOが主体となり、各地域のNPOやコミュニティビジネス事業者に対しIM支援を行っています。

当センターでも随時相談を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

(※1) インキュベーション・マネージャーの語源

養鶏業者の卵を孵化（ふか）して雛を育てるインキュベーター（孵化機）の役割に似ていることから、そう呼ばれるようになりました。

～NPO・市民活動団体
安定した運営を目指して～



こちら **NPO元氣研究所**



NPO経営安定化等対策事業
市川 愛望(いちかわまなみ)

おしえて！チラシ作りのポイント

運営を行うために外部へ発信する情報がありますね。活動報告やイベントの告知、会員の募集等、団体によってその情報は様々です。ところで、その情報を伝えるチラシは魅力的ですか？

今回は人の目を惹きつける効果的なポイントについて勉強していきましょう。チラシをつくる上で、効果的な9つのポイントを、サンプルで作成したチラシを例にご説明します。

1、全体を3、4つのブロックに分けて配分

伝えたいことを整理して、メリハリをつけましょう。重要なのは統一感です。

6、イラストや写真を効果的に

イラストや写真を使って視覚的に訴えると、効果的です。言葉を映像にして相手の想像を膨らませましょう。

2、上部1/3に

主要なメッセージ

折ったり、他のチラシに重ねられたりしても、主要なメッセージが見えるようにしましょう。



3、最初の3行が勝負

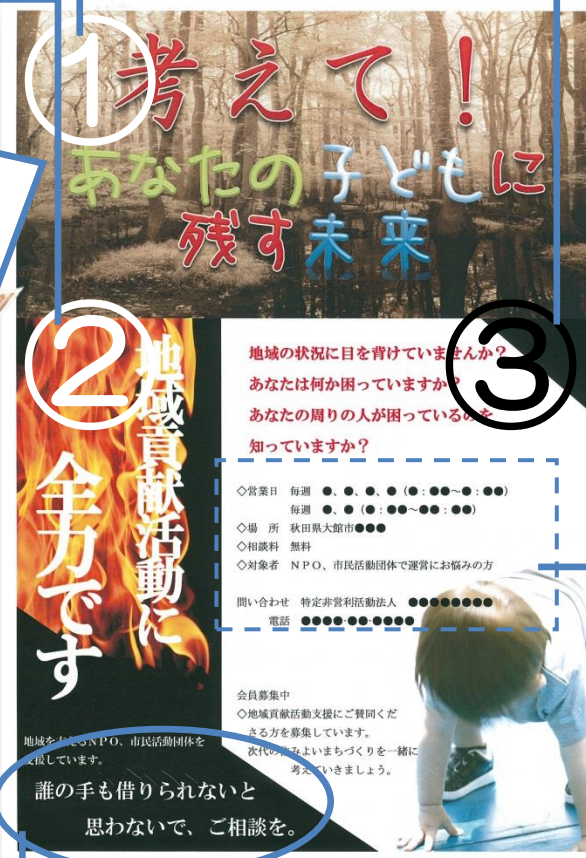
読み手が手に取るか取らないかは、ここが決め手です。

4、タイトルは説明ではなく
キャッチコピー

団体名や説明文より、魅力的なセールスポイントで簡潔に訴えましょう。

5、人のところに届く言葉を

一人一人に話しかけるように、生きた言葉で読み手に語りかけましょう。



7、空白もデザインの一部

会話と同じで矢継ぎ早にせず、間を持たせましょう。スッキリしたデザインがポイントです。

8、行間、字間を

詰め過ぎない

行間や字間が詰まると、読みづらいばかりか、全体に汚れた印象を与えてしまいます。

9、基本的な情報を

忘れずに

日時、曜日、場所、申し込み方法、主催者・連絡先など、基本的な情報がもれていないか、日付や電話番号が間違っていないか、しっかり確認しましょう。

【参照】「思わず手にとるチラシを作るための9つのポイント」
講座企画塾 吉田清彦 official ホームページ

イベント情報

第2回親力・教師力 発達障害の子への対応アップセミナー

子育てに活かせる特別支援教育、親のあり方・教師のあり方について考えます。

【日時】平成25年9月22日(日)
13:00~16:30(12:30受付開始)

【場所】大館市北地区コミュニティセンター
(大館市有浦1丁目8-15 TEL0186-45-0515)

【参加料】資料代 1,000円(当日受付にてお支払い)

【主催】NPO法人あきた花咲く教師力ネットワーク
代表 間嶋祐樹

【後援】大館市教育委員会

【申し込み・問い合わせ】

NPO法人あきた花咲く教師力ネットワーク 事務局 小畑
TEL.090-9537-8937

E-mail: obahi.0769@nifty.com



知っておこう!地の利を活かす 秋田の再生可能エネルギー

太陽光や風力、バイオマスなど自然の力を利用した再生可能エネルギーは、循環型社会への転換や地球温暖化対策の面から期待されています。秋田県の再生可能エネルギーの現状や今後の展開について学んでみましょう。

【日時】平成25年9月27日(金)
13:30~15:00

【場所】能代市勤労青少年ホーム
(能代市文化会館となり)

【講師】秋田県生活環境部温暖化対策課
副主幹 永田 司 氏

【対象】関心のある方ならどなたでも。

【定員】20名

【参加料】無料

【申し込み方法】締め切り

平成25年9月26日までに、下記申し込み先までご連絡ください。

【問い合わせ・申し込み先】

能代市市民活動支援センター

〒016-0842 秋田県能代市追分町4-26

TEL/FAX.0185-52-0355

E-mail: supportnavi@shirakami.OR.jp



第7回白神山地ウォーキングツアー

散策コースと登山コースに分かれて、体力にあったウォーキングをおこないます。

【日時】平成25年9月22日(日) 8:30~16:30

【集合場所】世界遺産センター (藤琴字里栗63)

【コース】・白神山地散策コース ・駒ヶ岳登山コース

【定員】各コース 20名

【参加料】

大人 3,000円 小中学生 2,000円 親子ペア 4,000円

【申し込み方法】締め切り

平成25年9月20日(金)までに、下記申し込み先までご連絡ください。

【問い合わせ・申し込み先】

藤里町商工会観光振興課 TEL.0185-79-2518



あきたエコマイスター環境講演会

「地球温暖化」をテーマに秋田地方気象台担当者を招き、講演会をおこないます。

【日時】平成25年10月6日(日) 13:00~16:00

【場所】大館市北地区コミュニティセンター
(大館市有浦1-8-15)

【対象】どなたでも参加できます。

【参加料】無料 ※直接会場にお越しください。

【問い合わせ】

あきたエコマイスター県北協議会

副会長 工藤まで

TEL.0186-42-7901



募集情報

保育サポーター新規養成講習会

平成25年度子育てサポーター養成講習会を開催します。

【講座の日程】

10月3日(木)、4日(金)、8日(火)、11日(金)、17日(木)、18日(金)の6日間。※各日程の時間、また申し込み用紙は下記URLよりご確認ください。

【会場】秋田県生涯学習センター

(秋田市山王中島町1-1)

【対象】講座終了後、子育てサポーターとして活動意思のある方。全日程を受講できる意欲のある方ならどなたでも参加できます。

【受講料】2,500円(テキスト代)10月3日(木)徴収。

※託児サービスあり(有料)託児希望者は別途提出用紙が必要となります。

※修了者には(一般財)女性労働協会より修了証書が交付されます。

【申込締切】9月27日(金)

【定員】25名

【申し込み方法・問い合わせ】

特定非営利活動法人 秋田県子育てサポーター協会

TEL.018-834-3441 FAX.018-834-4844

URL:http://common.pref.akita.lg.jp/kosodate/topics/detail.html?topics_id=91

助成金情報

元気ファンド 「東日本大震災市民活動支援」 募集開始

市民ネットワーク千葉県では、市民活動が元気になるように活動支援の助成を行っています。一昨年度立ち上げた「東日本大震災市民活動支援」を今年も継続して総額200万円の助成をおこないます。

【対象】

①被災地で支援活動をしている市民活動団体

②被災者を受け入れている地域で支援活動をしている市民活動団体

【助成額】1団体上限50万円として総額200万円まで

【応募方法】下記ホームページを参照し、所定の書類や資料を添付し郵送下さい。申請には、代表者の身分証とボランティアセンターや法人格を持つ団体の推薦が必要です。

【応募期間】平成25年10月末日(木)必着

【提出先・問い合わせ先】

市民ネットワーク千葉県

〒260-0013 千葉県中央区中央4-10-11 アイビル6F

TEL. 043-201-1051 FAX. 043-223-6651

HP: <http://www.ken-net.gr.jp/fund/2954/>

障害者市民防災活動助成 「NPO法人ゆめ風基金」

障害者市民が災害にあったとき、避難行動や避難生活がスムーズにおこなわれるための活動、支援を有効におこなうためのネットワークづくりなど、次のような活動に助成をおこないます。

【対象】

①障害当事者が中心となる防災活動(避難所・避難行動体験や啓発・学習活動)

②防災を通じて障害者市民と地域住民とのネットワークが構築され、日常の活動にもつながる取り組み

③災害時に障害者支援をおこなうための具体的な仕組みづくり

④障害当事者の声を反映した防災の研究活動

【助成額】助成は1事業につき、1回10万円を限度をします。(ただし、事業実施前3ヶ月以前に申請をお願いします)

【応募方法】下記ホームページから申請書をダウンロードし、事業をおこなう団体の紹介や、実施する事業の内容・予算など必要事項を記入して、郵送、FAX、またはメールで、ゆめ風基金事務所へお届けください。

【応募期間】通年募集。ただし助成額が100万円に達した場合はその年度の助成金申請を締め切ります。

【提出先・問い合わせ先】

ゆめ風基金事務局

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-14-1-108

TEL.06-6324-7702 FAX.06-6321-5662

ホームページ: <http://homepage3.nifty.com/yumekaze/>

Eメール: yumekaze@nifty.com

KAMIKOANIプロジェクト秋田2013 開催中!!



昨年の夏、大地の芸術祭の飛び地開催として多くの人々に驚きと感動をあたえ「KAMIKOANI プロジェクト秋田 2013」が平成25年8月10日より開幕！今年には八木沢集落のほか、旧沖田面小学校でアーティスト作品を多数展示。既に開幕から3000人以上の方々が来場しています。期間は10月14日まで!!



アーティスト作品
多数展示



八木沢カフェ
エトピア

・沖田面音楽室

9月16日(月) 16:00~
会場: 旧沖田面小学校 音楽室・ホール
出演: 青谷明日香・CHAMADA (シャマダ)
入場料: 1,000円
※要申し込み 上小阿仁村役場総務課
TEL 0186-77-2221

・大地の音楽

9月28日(土) 14:00~
会場: 八木沢集落 棚田舞台
出演: AKITA smile-face、国民文化祭出演団体ほか

・舞踏フェスティバル in KAMIKOANI

10月12日(土) 14:00~
会場: 八木沢集落 棚田舞台
出演: 大駱駝艦 (金粉ショー)
木戸銭: 500円
(上小阿仁村村内の方、中学生以下は無料)

・クロージングイベント

10月14日(土) 14:00~
会場: 八木沢集落 棚田舞台
出演: cozy、鼓響

イベント多数開催

※イベントの開催日時・場所は天候により変更になる場合がございます。事前にご確認ください。

【お問い合わせ】

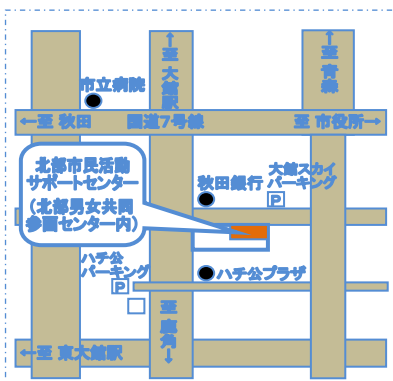
実行委員会事務局 (上小阿仁村役場総務課) 電話: 0186-77-2221 (午前9:00~午後5:00)

メール: info@kamikoani.com

住所: 018-4494 秋田県北秋田郡上小阿仁村小沢田字向川原 118

公式ホームページ: <http://kamikoani.com/>

秋田県の市民活動団体の情報が満載! 秋田県市民活動情報ネット <http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>



<編集後記> 異常気象による被害が頻度を増し、不安な日々が続いています。救済に動いてくれた皆様のお力添えに感謝し、支え合いこそ人の歴史であるのだと痛感しました。被害に合わせた多くの方にお見舞い申し上げます<市川>

んだすな

『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力し合えたらという想いが込められています。

平成 25 年 9 月 10 日 発行

発行: 秋田県企画振興部地域活力創造課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
TEL.018-860-1245 FAX.018-860-3875

編集: 北部市民活動サポートセンター
〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町 48-1
TEL.0186-49-8553 FAX.0186-49-8589

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
E-mail: anged1@o.ocn.ne.jp

○北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。